

令和6年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「個別最適な学びを目指した情報端末の活用」

宮代町教育委員会

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

事例1

○教科名 国語（小学校5年）

○单元名 「やなせたかし

アンパンマンの勇気」

○身に付けたい力

- ・情報活用能力（整理・分析する力）
- ・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめる力

○個別最適な学びと協働的な学びに向けた工夫

①デジタル教科書の活用

- ・デジタル教科書内の「本文抜出機能」や「マーカー機能」を活用し、アプリ内のページに本文の抜き出しが容易となっている。何度もやり直しがきくうえに、各自が試行錯誤しながら情報を収集したり、整理・分析を行ったりしている。そのため、ただ板書を写すのではなく自分の思考を反映したオリジナルの板書を作成することが可能。
- ・「朗読機能」で、各自のペースで範読を聞くことができる（速度・画面・挿絵）。
- ・様々な思考ツールの活用。

②協働的な学び

- ・協働する相手や場所の選択、協働学習のタイミングや費やす時間を学習者自らが調整をすることができる。
- ・各自の考えがまとまったら、共有アプリに投稿し学習者全員が情報共有できる。
- ・投稿された情報や、他の学習者の画面等を他者参照することにより、意見や考えを深め、学習者自身の自信につなげることができる。
- ・大型提示装置を活用し、学習者の画面を共有し、意見や考えの共有を行う。
- ・全文印刷を活用し、学習者の意見集約の学びマップの作製。
- ・Google スプレッドシートを用いた振り返りシートの活用を行い、学習の足跡を残すことができる。また、振り返りを書く際にも学習者同士が話し合ったり、他者参照したりしながら記入を行うことができる。



事例2

○教科名 算数（小学校6年）

○单元名 分数のわり算

○身に付けたい力

数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、互いに自分の考えを表現し合う活動を積極的に取り入れ、計算の仕方を多面的に捉える。

○個別最適な学びへ向けた工夫

<表現方法の選択>

- ・自分にあったアウトプットの方法で表現。（情報端末、ノート、言葉、図など）

<共有化>

- ・考えがまとまった児童から、お互いに考えの交流を行ったり、解決になかなか手のつかない児童へのアドバイスをしたりする時間を確保した。
- ・授業支援システム上で児童の考えを1人1台端末に映し考えの共有を行った。

<視覚化>

- ・交流や発表の流れ、自力解決の流れが分かるものの掲示。

<理解の促進>

- ・デジタルドリルを活用した、適応問題への取り組み。
- ・毎時間のふり返りを Google スプレッドシートに打ち込むことで、自分の学習や変容をいつでも分かりやすく確認することができるようにした。



発表の流れ

1. 発表を始めます。
2. 私は、を使って、考えました。
3. 図や式を指さしながら説明
4. 何か質問はありますか？
5. 私と同じ考えの人はいますか？
6. これで私の発表を終わりにします。

～①の流れ～

1. 自分の考えを書く。
(式、図、言葉)
2. 友だちと交流する。
3. 写真をとる。
4. 教えにいく。

日付	単元名	振り返り	④
8月19日 (月)	分数の倍々	私は今日の学習で、今までの「倍」の数が分数になっても、乗数のときと同じやり方でできることがわかりました。	★必ず書くこと 自分の考えた答えが正しいかどうかを確認しよう。 (～が分かった～ができた。～の考え方がすこし変わった。) 黒板やノート、教科書に書いてある言葉を使って、くわしく書こう！ 自分のように考えながら解き方を説明しよう。 (ほめてもらって、黒板にうつって考えをいれたらいい！) 問題をどのように解いたか、くわしく書こう！
8月20日 (火)	分数の倍々	私は今日の学習で、前は数直線を書くのが難しかったけど、今はスラスラとかけられるようになりました。数直線を書くときのつりとして、その数がもとの1より大きいか、小さいかを考えて場所を選ぶことです。そうすれば数直線を書くのが少し簡単になると思います。	★ほかに付け加えてもらいたいこと 数直線はOは必ず入れるよ！ 表にこれからのこと(もっとOについて考えてみたい、次はO.Oしたい。)
8月21日 (水)	分数の倍々	私は今日の学習で、Xを使った式のときに、 $X \times \frac{1}{2}$ のようにわからない数とXの関係を式に表わしてからXを求める公式や関係を確認しやすくなりました。ありがとうございました。あと、本課さんの発表がよかったです。	★今後とつながっていると思ったこと(これは、O.Oに利用されている。)

事例3

○教科名 技術・家庭科（技術分野）（中学校1年）

○单元名 「板材を組み立て、簡単BOXを形にしよう」

○身に付けたい力

- ・身近で起きた問題を自ら調べて解決する力。
- ・自分なりの工夫を活かして生活しようとする力。
- ・生活の中で自立を目指し、進んで生活の場で活用する力。

○個別最適な学びへ向けた工夫

- ・説明動画へアクセスできるQRコードを生成し、工具等の使い方について情報端末からいつでもアクセスすることができるようにした。

○協働的な学びに向けた工夫

- ・振り返りシートを共有することにより、意見を深めやすくした。
- ・説明動画をもとに、2人組、3人組での教え合い、学び合いが広く展開される場の設定。

